



林業やまなし

FORESTRY YAMANASHI 2017 No.216



森林総合研究所による県森林環境税事業の効果検証調査

目次

【ワイド紹介】	森林県やまなしの森に関する研究所 ～ 山梨県森林総合研究所 ～	2
【市町村情報】	機能性を重視したRC造+木造の混構造庁舎	5
【各地の話題】		8
【技術ニュース】	吹けば飛ぶよな木材の粉に	11
【お知らせ 1】	山梨県森林組合の事業について	13
【お知らせ 2】	平成29年度第2回狩猟免許試験のお知らせ	14
【やまびこ】	こんにちは「森林施業プランナー」です！	16



間伐材印刷用紙を使用しています

市町村情報

機能性を重視したRC造

+ 木造の混構造庁舎

早川町

きつかけは東日本大震災

早川町役場の旧庁舎は昭和32年に竣工した木造庁舎でした。今から約60年前に早川流域の村が合併をする際に、地域の拠点として建設され、その役目を果たしてまいりました。しかし、耐震基準を満たしておらず、また老朽化により補修費用が増大する中、手狭さから生じる事務効率の低下も否めない状況となっていました。そのため、平成9年に庁舎建設基金を設置し、徐々にその準備をしてまいりました。

そんな折、平成23年3月に東日本大震災が発生しました。予想される東海沖地震がいつ起きてもおかしくないと言われる中で、巨大地震が発生したら、庁舎が倒壊するかもしれないという緊張感が走りました。おりしも、近年の異常気象などにより、地域住民が一時孤立するなどの災害も頻発しておりました。このようなことから、まずは、町民を守る拠点として災害に強い庁舎

を早急に建てる必要が生じました。さらに、過疎と高齢化が進行する中で、地域活性化の起爆剤となるような庁舎づくりをしようという機運も高まり、平成25年4月「庁舎建設に係る検討会」が発足し、具体的な新庁舎建設計画がスタートしました。

機能性と「早川町らしさ」を追求

計画がスタートしてまず「人にやさしく利用しやすい庁舎」「防災拠点となる庁舎」「機能性を重視した庁舎」「環境にやさしくぬくもりを感じられる庁舎」という軸となる4つの事項を定めました。その後の基本計画や基本設計においても、そのコンセプトをバランスよく取り入れるように努めてまいりました。

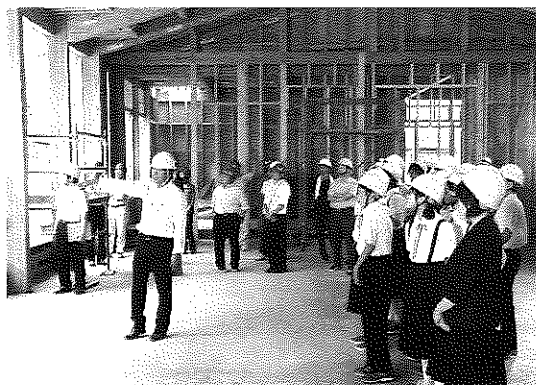
建物の構造において、当初はオール木造の庁舎を念頭に検討しました。しかし、新庁舎の敷地が、山と川に挟まれた立地であることから、想定外の災害が役場周辺で発生しても庁舎の機能を維持しなければならぬ点を重視し、木造は2階部分のみとし1階と地下は鉄筋コンクリート造（RC造）としました。また、外壁においても、耐久性を考慮し、木にみたてたものをルーバーとして用いることになりました。

一方で、庁舎内の公共スペースにおいては、一階も二階もフロアリングや木製ルーバーを用いるなど木質感あふれる内装としました。しかも構造材・造作材などに使用した木のほとんどが県内産（スギやカラマツ他約140種を使用し、その内約7割が町内産）と地域材の使用にこだわりました。また、受付カウンター、パンフレットラックなどの備品も主に町内産のスギを用いています。単に地域材の使用というだけでなく、例えばカウンターにおいては、町の観光資源であるフォッサマグナの断層をイメージしたものとしたり、パンフレットラックには、その重りとして町の特産である雨畑硯の原石を用いたりするなど、細部にわたり「早川町らしさ」を追求しました。



▲ 観光資源をイメージしたカウンター

さらに、上棟時には町民や町内の全小中学生などを招き、町内産の木伐採から製材に至る流れや、製材された木が実際に庁舎の中でどのように使われているかなどを説明する機会を設け、町民に愛着を持ってもらえるような取組も行いました。

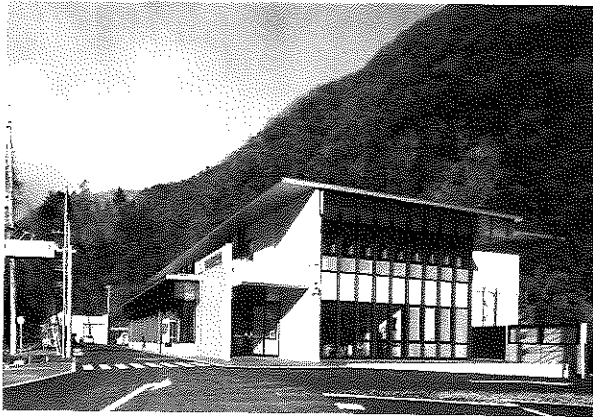


▲ 上棟時の見学会の様子

このように、木をたくさん使うことよりも、まずは機能性や効率性を優先した上で、「早川町らしさ」を表現することで、利用者の方が、木のぬくもりを感じ、さらに地域の良さを再認識してもらえるような庁舎を目指しました。

竣工後の様子

計画スタートからちょうど3年後



◀ 新庁舎の外観

の平成28年3月に竣工いたしました。竣工後の利用者の反応は、「手前味噌ですが」ある程度の手ごたえを感じています。玄関から庁舎に入るなり、歓声を上げる方もいました。「雰囲気がいいですね。」「木の香りがしていますね。」などと言っていた方もいました。また、これまでは他の会場で行われていたイベントや会議なども、竣工を機に、新庁舎で行うようになり、また行政視察等により見学を目的に訪れる方も増えたりして、旧庁舎と比べ利用者が2割程度増え、活気のある庁舎となりました。



◀ 1階ロビー

さらに、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について表彰する制度である「ウッドデザイン賞」を受賞したり、環境上又は景観上優れた建築物等を表彰する「山梨県建築文化賞」で奨励賞を受賞するなど様々な賞を頂戴しました。当初に定めたコンセプトを地域住民と共有しながら事業を進めた点、また地域材をふんだんに用いて木材の利用の波及効果を図っている点などが評価されました。お陰様で、町民にとっても誇りに感じてもらえるような庁舎となりました。

～県産材をあなたのもとへ～ <http://www.y-wood.com/>

お住まいに 身の回り品に
木のぬくもり 木の香りをお届けします。

◆合法木材は地球を守る第一歩◆

世界と日本の森林を守るために合法木材を使用しましょう。



合法木材使用住宅



「合法伐採木材等の流通及び
利用の促進に関する法律」

❖クリーンウッド法❖
が施行(H29.5.20)されました。

木材関連事業者の皆さんへ

クリーンウッド法をよく知っていただくため、
セミナー・キャンペーンを開催いたします。
山梨県木材協会ホームページ等でご案内いたします。

木材は人にやさしい 地球にやさしい 自然素材です

※山梨県産材認証センターは「山梨県産材・合法木材取扱事業者」を認定しています

山梨県地域材利用推進協議会 山梨県産材認証センター（事務局：一般社団法人山梨県木材協会）

〒400-0047 山梨県甲府市徳行4-11-20 山梨県林業会館内

TEL：055-228-7339 FAX：055-222-7703 info@y-wood.com

木造・木質化のデメリット？

しかし、実はよいことばかりではありませんでした。竣工して半年ほど経った時、2階の大会議室に設置したパーティションが動かなくなる事態が発生しました。また、何箇所かの木製の開き戸がしっかりと閉まらないといったこともありました。原因は、どちらも木の収縮や反りによるものでした。「新築なのに・・・」という厳しい意見もありました。しかし、木の収縮は木を持つ特性であり、室内の乾湿を調節している証拠でもあります。また、少しずつ収縮の度合いが小さくなっていて、そのような事例は現在ではほとんどありません。木造・木質化された施設を利用するには、木を持つ特徴を理解し、新築直後の不具合と思われるような事態も、ある程度は許容する心のゆとりも必要と思います。

今後の展望

早川町は、南アルプスの麓に位置する大自然の町として、町づくりをしてまいりました。平成26年にはユネスコエコパークにも登録されました。その一方、電源開発で栄えていた時代以降、一貫して人口減少が続き、現在では「日本で最も人口の少

ない町」となりました。

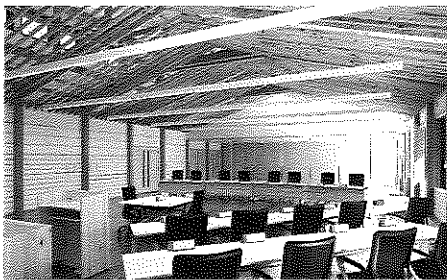
しかし、早川町は現在、転換期にあると思います。国家的な大型プロジェクトであるリニア中央新幹線の建設が平成27年12月に早川町を皮切りに始まりました。約10年後には、山岳トンネルの谷間にリニアの橋りようがかります。また、2年後には中部横断自動車道が開通する予定であり、さらに早川町奈良田と南アルプス市芦安地区を繋ぐ連絡道路の整備も進められているため、今後交通網が格段に良くなります。

このような転換期の中で、行政の役割はさらに重要となっていくと思われれます。機能性と「早川町らしさ」の詰まったこの庁舎で、今後も来庁者を温かく迎え入れ、また町民に愛される庁舎となり、そして名実ともに

に地域活性化の核となる庁舎となるように努力いたします。

早川町役場
総務課 管
財・リニア
担当

副主幹
宮本高広



▶ 2階大会議室



みんなで進めようリスクアセスメント めざそう職場の安全・安心

林業・木材製造業労働災害防止協会山梨県支部

支部長 小宮山 敏 文

〒400-0047 山梨県甲府市徳行4丁目11番20号 (山梨県林業会館内)

TEL 055-228-0821 FAX 055-222-7703

高性能林業機械

ハーベスタ
プロセッサ
スイングヤーダ
フォワーダ
木材粉砕機
フェン
パン
チャ
カッタ



レンタル・リース・販売・修理

取扱商品
林業機械・建設機械
情報化施工機械全般

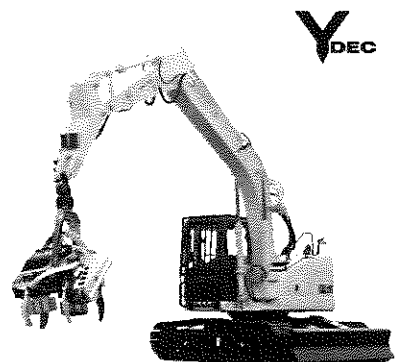
株式会社 **ヨシカワ** 山梨営業所

南アルプス市藤田2542

Tel 055-284-8074

Fax 055-284-8075

本社 石川県金沢市北安江3-1-33



YDEC